



令和7年度

研究デザイン

亀山市立亀山南小学校



教育大綱 基本方針－Ⅰ

未来を拓く子どもたちの豊かな学びの実現

亀山市教育関係職員 研究基本方針

「一人ひとりの児童・生徒が個性を生かしながらかまとともに主体的に学ぶために」

- (1) すべての子どもの学ぶ意欲を高め、社会で生きてはたらく「確かな学力」を育てる教育活動をすすめる。
- (2) 教師の授業力向上を追求するとともに、系統的な指導をすすめる。
- (3) 人権を尊重し、なかまとともに、豊かな心と身体をはぐくみ、自己肯定感・自己有用感を高める教育活動をすすめる。
- (4) 地域の人材や活動を活用し、地域とともに特色ある教育活動をすすめる。

Ⅰ. 学校教育目標

のびよう ともに たくましく

「のびよう」… 子どもが育つ学校

「ともに」… 仲間とともに、地域とともに

「たくましく」… つよく、やさしく、かしこく

子ども自身が自らの力で成長する学校

なかまにつながり、みがき合い、地域とともに歩む学校

健やかな身体、豊かな心、確かな学力を育む学校

2. 研究主題及び研究領域

考えや思いを主体的に表現する子の育成

～「やってみたい・伝え合いたい・深め合いたい」をめざした授業づくり～

研究領域：生活科、総合的な学習の時間、特別活動

3. 研究主題設定の理由

本校は素直な児童が多く、明るく元気で健康的な学校生活を送っている。本校は単学級のため、人間関係が固定化されやすい環境にあるが、なかよし班（縦割り班）活動など異学年同士が関わり合って活動する機会を設定することで、高学年の児童がリーダーシップをとったり、進んで低学年の支援をしたりする姿が見られている。また、休み時間には、学年を問わず誘い合って運動場などで仲良く遊ぶ姿も見られる。出された課題にも、まじめに取り組むことができる児童が多い。

その一方で、クラスや全体場で自分の考えや意見を述べたり、文章で表現したりすることが苦手な子も多く、授業中など自分の考えを意欲的に発言する子が限られている。また、自分の言いたいことを伝えることで満足し、相手の話を最後まで集中して聴いたり、話の内容を的確に捉えたりすることが苦手で、感想をもったり関連付けて話したりするところまでに至っていないというげんじょうがある。書くことについては、語彙力や長文を書き綴る力に課題がある。

これらの課題解決に向けて、これまで子どもたちが見通しをもって取り組むことができる授業づくりや授業スタイルづくりに取り組んできた。「めあて・まとめ・ふりかえり」の充実、言語活動の充実、家庭学習の充実による家庭学習習慣づくり、安心して学べる環境づくりの4点を手立てとしている。授業の流れを統一することで、学年が上がっても戸惑うことなく学習に取り組むことができている。また、授業で何を学ぶか（学んだか）が明確になり、よりわかりやすい授業づくりにつながったといった成果が見られた。



4. 研究主題について

本年度も昨年度に引き続き、研究主題を「考えや思いを主体的に表現する子の育成」、サブテーマを～「やってみたい・伝え合いたい・深め合いたい」をめざした授業づくり～とし、研究に取り組む。研究領域も昨年度と同じ、生活科・総合的な学習の時間、特別活動とする。どのような学習が子どもたちの「やってみたい・伝え合いたい・深め合いたい」と思える学びにつながるのかや、言語活動や体験を介した学び合いについて研究や実践を進める。また、学習展開に子どもたちの思いや願い、考えを反映するとともに、学習活動の中に様々な人との関わり、多様な体験、情報を活用した協働的な学習活動を取り入れていくことで、子どもたちの「やってみたい・伝え合いたい・深め合いたい」を引き出していきたいと考える。

一昨年度設定した「生活科・総合的な学習の時間におけるめざす子どもの姿」の実現に向けて、今年度も研究や実践をすすめていく。子どもたちの実態をふまえ、地域と連携し、体験活動を効果的に取り入れ、子ども一人ひとりの「生きる力」の育成をめざしていきたい。

5. 研究構想図

学校教育目標

のびよう ともに たくましく

研究主題

考えや思いを主体的に表現する子の育成

～「やってみたい・伝え合いたい・深め合いたい」をめざした授業づくり～

やってみたい！

・子ども自身が目標や見通しをもって取り組める学習

伝え合いたい！

・子どもと子ども、子どもと教師、地域の人が自分の考えを伝え合ったり、協働したりする学習

深め合いたい！

・自分の思いや考えを広げ深める学習

主体的・対話的な授業づくり

生活科・総合的な学習の時間

・探求の過程を大切にした授業づくり

課題設定

情報収集

まとめ・表現

整理分析

・子どもの思いをいかしたカリキュラムづくり
・地域の教育資源を活用した授業

特別活動

・自治的活動（児童会・委員会・学級会活動）の充実
・なかよし班（縦割り班）活動による異学年交流の充実

深め合いたい！

伝え合いたい！

やってみたい！

確かな学力の定着

・eライブラリの活用
・自主学習ノート
・辞書引き学習
・「チャレンジタイム」の実施
・「よむ×よむ」「マス×マス」を活用した授業実践
・亀山授業デザインスタンダードプランの取組
・スタートカリキュラム、Kameyama Study Week、Kameyama Sports Weekの取組

安心して学べる学習環境づくり

・学習規律の徹底
・互いを認め合える温かな学級集団づくり
・子ども理解と支援の充実
・アンケート等を活かした教育相談の実施

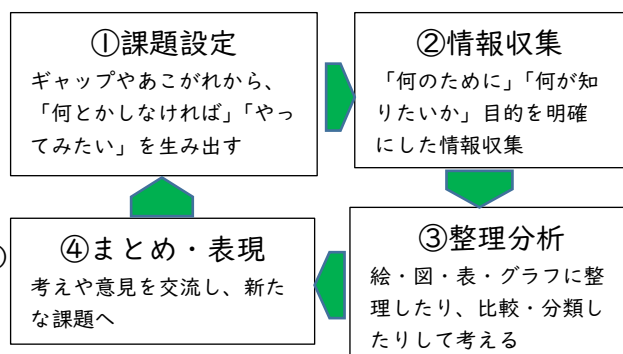
学びの土台づくり

6. 研究内容及び具体的な取り組み

(1) 生活科・総合的な学習の時間

- ・子どもの実態や思考に沿ったカリキュラム作り
- ・地域の教育的資源を活用した授業
- ・探求的な学習過程
- ・めあて、まとめ、ふりかえりを意識した授業
 - 授業のはじめに本時のめあての確認をする。
(授業の終わりに次時のめあてを設定しておく。)
 - 授業の終わりにまとめをする。(総合的な学習の時間も行う)
 - 次の授業のめあてや見通しを子どもと話し合って決める。
 - ふりかえりをする。

探求的な学習過程



学習の基盤となる資質・能力 本校の重点項目

	低学年	中学年	高学年
③ 話す 聞く	・ 順序に気をつけて話す。 ・ 相手の発言を聞いて、復唱する、共感する、質問する、感想を言う。	・ 理由や例をあげて話す。 ・ 自分の考えとの共通点・相違点を見つけてながら聞く。	・ 事実と感想、意見を区別して話す。 話し合いを通して共通点や相違点を見つけたり、考えを広げたりする。
⑦ 表現 する	・ 実物を見せたり、カメラを活用したりして表現する。 ・ 伝えたいことを明確にして、それを意識して表現する。	・ 授業支援ソフトを活用して表現する。 ・ 他者の意見と自分の意見を関連させながら表現する。 ・ 理由や事例を挙げ、話の中心を明確にして表現する。	・ 授業支援ソフトを活用して表現する。 ・ 具体例を挙げたり、資料から引用したりして表現する。 ・ 自分の立場や考えを明確にし、論理の展開等を工夫して表現する。
⑩ 解決 する	・ 自分で考えた方法でわかりやすく表現する。 ・ 友だちに聞いたり相談したりしながら学習を進める。	・ 目的をもって、調査・実験・観察を行い、課題解決する。 ・ 目的に合った表現をする。 ・ 友だちのよさを認め合ったり、励まし合ったりしながら学習を進める。	・ 目的をもって、調査・実験・観察を行い、課題解決する。 ・ 伝える相手を意識して表現する。 ・ 互いの意見を出し合い、自分の意見を確かにしたり、よりよくしたりする。

(2) 特別活動

①ねらい

- ・自分たちで計画・活動する意義や楽しさを知る。
- ・つながる力、伝える力、生活を見つめ改善する力を伸ばす。
- ・高学年のリーダー性、計画性と柔軟性を伸ばす。
- ・学年を超えた子どもたち同士のつながりを深める。

②活動内容

- ・生活目標の設定とふりかえり(学級会、生活委員会) ・地区児童会活動
- ・なかよし集会(全校集会)・全校遊び、なかよし班(縦割り班)活動

(3) 確かな学力の定着

- ・eライブラリの活用 ・自主学習ノート ・辞書引き学習 ・「チャレンジタイム」の実施
- ・「読む・読み取る力」の育成を図る …「よむ×よむ」を活用した授業実践
- ・「算数・数学的思考力」の育成を図る …「マス×マス」を活用した授業実践
- ・亀山授業デザインスタンダードプランの取組
- ・スタートカリキュラム、Kameyama Study Week、Kameyama Sports Weekの取組

(4) 安心して学べる学習環境づくり

- ・学習規律の徹底 ・互いを認め合える温かな学級集団づくり ・子ども理解と支援の充実
- ・学級力アンケート、人権アンケート等を活かした教育相談の実施